



看護・スペシャリストの活用

病院だけでなく、訪問看護やクリニックにも
専門分野を持つ看護師がたくさんいます。
在宅療養で困っていることがあったらぜひ相
談してください。



訪問看護イメージキャラクター ほなと

2019年4月
北多摩南専門・認定ナースの会

目次

1. 認定看護師とは
2. 専門看護師とは
3. 認定看護管理者とは
4. 訪問看護認定看護師
5. 緩和ケア認定看護師
6. がん看護専門看護師
7. 皮膚・排泄ケア認定看護師
8. 慢性心不全看護認定看護師
9. 地域看護専門看護師
10. 老人看護専門看護師



認定看護師ってどんな看護師？

認定看護師は、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

認定看護師とはどんな資格ですか？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。2018年12月現在、19,894人の認定看護師が全国で活動しています。

認定看護師はどんな活動をする看護師なのですか？

患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

～例えばこんな活動をしています～

専門的な治療や看護が必要な患者・家族に対して最適な看護は何か、認定看護分野の専門知識に基づき判断し、実践します。

他の看護師に対し、自らが手本となり専門知識や看護技術などを指導し水準の高い看護を行えるように働きかけたり、看護の現場で直面する問題や疑問の相談に乗り、改善策を導き出せるよう認定看護分野の専門知識に基づき支援します。

認定看護師はどこで活動していますか？

病院の他、訪問看護ステーションやクリニック・診療所、介護保険施設等で活動しています。

認定看護分野にはどんなものがありますか？

「救急看護」など、21分野が認定看護分野として特定されています。

21の認定看護分野

感染管理	糖尿病看護	乳がん看護
皮膚・排泄ケア	認知症看護	小児救急看護
緩和ケア	摂食・嚥下障害看護	慢性心不全看護
がん化学療法看護	脳卒中リハビリテーション看護	慢性呼吸器疾患看護
集中ケア	訪問看護	透析看護
救急看護	手術看護	がん放射線療法看護
がん性疼痛看護	新生児集中ケア	不妊症看護





専門看護師ってどんな看護師？

専門看護師は、水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。「専門看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

専門看護師とはどんな資格ですか？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は専門看護師としての活動と自己研鑽の実績を重ね、5年ごとに資格を更新しています。2018年12月現在、2,279人の専門看護師が全国で活動しています。

専門看護師はどんな活動をする看護師なのですか？

患者・家族に起きている問題を総合的に捉えて判断する力と広い視野を持って、専門看護分野の専門性を発揮しながら専門看護師の6つの役割「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」を果たし、施設全体や地域の看護の質の向上に努めます。

～例えばこんな活動をしています～

複雑で対応が困難な課題を抱える患者・家族の、病気とその背後にある不安や葛藤等の様々な要因を総合的に捉え、どのような看護が必要か判断して実践します。

患者・家族によりよい看護を行うにはどのような関わりが必要か等、看護師や他の医療職の相談に乗り、専門知識を活かしたアドバイスを行って問題の解決を図ります。

療養の場が病院から自宅へ移行しても必要な医療を円滑に受けられるよう、医師や看護師、地域の訪問看護ステーションやケアマネジャー等、様々な職種・施設に働きかけて調整し、連携を推進します。

治療方針の決定など倫理的問題が生じやすい場面に関わり、患者・家族の思いを尊重して治療や療養を行えるよう、他の看護師や医師等、関係する人々に働きかけます。

専門知識や技術に基づき看護師に教育を行い、施設全体や地域の看護の質の向上に努めます。

日々の看護における課題を研究対象として捉え探求します。研究成果を実践に還元することで、看護の質の向上に貢献します。

専門看護師はどこで活動していますか？

病院の他、大学等の教育の現場や訪問看護ステーション等で活動しています。

専門看護分野にはどんなものがありますか？

「がん看護」など、13分野が専門看護分野として特定されています。



13の専門看護分野

がん看護
在宅看護
家族支援

慢性疾患看護
急性・重症患者看護
遺伝看護

感染症看護
母性看護
災害看護

精神看護
地域看護

老人看護
小児看護

2019年1月作成



認定看護管理者ってどんな看護師？

認定看護管理者は、病院や介護老人保健施設などの管理者として必要な知識を持ち、患者・家族や地域住民に対して質の高いサービスを提供できるよう組織を改革し、発展させることができる能力を有すると認められた看護師です。認定看護管理者の資格は、日本看護協会が認定しています。

認定看護管理者とはどんな資格ですか？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める510時間以上の認定看護管理者教育を修めるか、大学院で看護管理に関する単位を取得して修士課程を修了した後に、認定看護管理者認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護管理者としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。2018年12月現在、3,772人の認定看護管理者が全国で活動しています。

認定看護管理者はどんな活動をする看護師なのですか？

患者・家族や地域住民に対しより質の高いサービスを提供できるよう、自身が管理する組織の課題を明らかにし、組織内の様々な部署や人に働きかけて、組織全体のサービス提供体制の向上に取り組みます。また、地域の組織間の連携を図るなど、地域全体の医療・看護の質の向上に努めます。

～例えばこんな活動をしています～

保健・医療・福祉の政策等に関する知識や組織管理に必要な理論、経営的な視点等を用いて自身の管理する組織を分析し、サービスの質を向上するための方策を検討して、実行します。

看護師が知識と技術を身につけて看護の質を向上できるよう、教育体制を整え人材育成を推進し、質の高いサービスを効率よく提供できるよう、職員の資質を活かした配置を行います。

労働環境の整備やワークライフバランスの推進など、看護師が継続して働きやすい職場環境を整えます。

医療事故を防ぎ、安全な医療・看護を提供するための教育や体制の構築を行い、組織として安全管理を推進します。

認定看護管理者はどのような立場で活動していますか？

病院や介護老人保健施設の副院長・看護部長をはじめとする管理者、訪問看護ステーションの所長等として活動しています。



2019 年 1 月 作成

訪問看護認定看護師って

ほぼほぼ在宅、
時々入院を支える
看護を提供します

訪問看護師は赤ちゃんから高齢者まで、どんな病気や障がいを抱えても住み慣れた地域で暮らしたい…

そんなあなたを支えます。

医療処置を抱えての自宅での生活や体の状態・変化の観察、病気や介護予防、重症化への予防への支援、リハビリテーション、ターミナル期へのケア、ご家族への介護指導や相談などを行います。

私たち訪問看護認定看護師は、家族から自宅でこれ以上生活できないと言われた方がどうしても自宅で暮らしたい、病院からこの病状では帰れないのでは？と言われた患者さん・利用者さんが帰れないではなく、帰れる環境を色々な職種と相談しながら、いかに実現するかを考える役割を持っています。

つまりはその人が望む生活ができるよう地域を繋ぐスペシャリスト（コーディネーター）です。

人生悔いなく過ごせるようオンリーワンの看護（完全オーダーメイド）の提供を目指します！！



緩和ケア認定看護師です

緩和ケアとは

がんにかかわらず命を脅かす病気になっておこるさまざまなつらさをやわらげ、利用者さんご家族を総合的にささえる治療とケアのことを言います。治療ができなくなってから緩和ケアが始まるわけではありません。

在宅緩和ケアとは

住み慣れた環境の中で、自分の生活リズムを大切にしながら緩和ケアを受けることを言います。

緩和ケア認定看護師の役割

住み慣れたお家で大切な人や思い出に囲まれながら、その人らしく過ごすことができるようにお手伝いをします



医療用麻薬の使い方など

思いに寄り添い、一緒に悩みます

治療が生活に及ぼす影響を一緒に考えます

医師、ケアマネジャーなどと調整します

在宅、緩和ケア病棟の選択

痛みや息苦しさ、だるさなどの身体
のつらさの緩和

不安やいらいら、孤独感などの心の
つらさの緩和

治療の継続、中断などに対する相談

在宅チームで療養者を支える体制づくり

療養場所や過ごし方の相談

がん看護専門看護師ってどんなひと？

専門看護師とは、がん患者やご家族に起きている問題を総合的にとらえて判断する力と広い視野で「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」の役割を実践することで、がん患者の“自分らしい”生活を作り出す過程をサポートするとともに、地域の看護師の質向上に努めています。



- がんに関する専門的知識をもとにがん患者やご家族の不安や心配、悩みに対応しています。
 - 病状に関連する症状のアセスメントおよび薬剤に関する相談・日常生活の工夫の提案
 - 患者の病期や治療に関する思いの傾聴
- がん治療による副作用のつらさや症状の緩和、治療の選択など療養中におこる様々な不安に対しても援助します。
 - がん治療の継続や中止に関する意思決定支援
 - 患者やご家族への病状や治療に関する説明の補足
- 他の医療従事者と連携して、がん患者さんやご家族が病気を抱えながらもその人らしく生きられるように支援します。
 - がん患者やご家族が治療や病気とどう向き合うかに関する支援
- 地域のがん看護の質の向上を目指して、がん看護に関する相談に乗るとともに、がん看護に関する教育や研究に取り組みます。

このような場合、ぜひご相談ください



- がんの経過、治療による影響や今後の見通しが分からない。一緒にがん治療の経過を読み解いて、ケア方法を一緒に考えてほしいとき。
- がん治療や療養の場所で悩まれている利用者の方の対応方法が分からない。気持ちの整理を一緒に行いたい、最後の時の過ごし方について話し合いたいけどどのようにすすめれば良いか分からないとき。
- がん患者でモヤモヤとすることがある。あの対応方法で良かったのか、どう対応すれば良いのかと悩んでいるとき。
- 看取りの対応やご遺族へのケアについて知りたい。デスカンファレンスや倫理カンファレンスの進め方が分からないとき。
- がんに関する研究方法について教えてほしいとき。

皮膚・排泄ケア認定看護師です！！

通称)WOC(ウオック) ナース／ET(イーティー)ナースとも呼ばれています
～Wound(傷) Ostomy(ストーマ) Continence(正常な排泄)～

* 皮膚や排泄のケアに関する相談支援を行う看護師です



肌トラブルの例

床ずれや、皮膚の乾燥による痒み、かきむしりなど

高齢になるにつれ、肌や排泄(尿や便)に関する様々な問題を生じることがあります。

健やかな肌を維持すること、排泄のケアの相談には、専門的なアドバイスをする看護師が皆さんを支えます。



排泄トラブルの例

くしゃみ時の尿漏れ、我慢できない尿意、頻尿など

ストーマ (人工肛門や人工膀胱)のトラブルの例

装具が合わない
外出への不安など



WOCを探す方法

・日本看護協会
ホームページ

<https://www.nurse.or.jp/>

・日本創傷失禁
管理学会
ホームページ

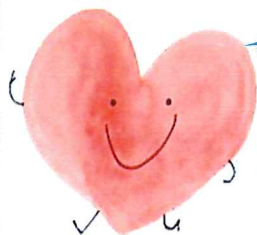
<http://www.jwocm.org/>

Q.どんなことができるの？

トラブルの様々な原因を考え、生活環境や介護状況に応じたスキンケア方法や環境調整(生活改善や用品の工夫、製品紹介)、多職種と効果的に連携をとり、皮膚・排泄ケアの問題の早期解決を目指します

心不全患者さんの療養生活を支える 慢性心不全看護認定看護師

慢性心不全看護認定看護師は



-  心不全の病状の変化や進行の程度に合わせて療養環境を整えるお手伝いができます
-  介護・福祉職と医療職が連携する中で疾病管理の調整役を果たすことができます
-  「その人の生活や人生に沿った支援」を一緒に考えることができます

心不全が悪くなる誘因は？

原因疾患や併存疾患が悪くなるだけでなく、
塩分・水分制限や**治療薬服用の不徹底**、
仕事や家事などの**過剰な活動やストレス**
など予防可能な誘因が多くを占めています



心不全ってなに？

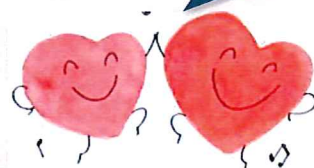
「心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが
起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です」

退院時には自覚症状がほとんどなくなるため
「心不全は治った」と考える患者さんがいますが、
残念ながら完全に治ることはありません。
そして**悪化と改善を繰り返しながら進行**していきます。
心不全で入院したことのある人の**5年生存率は50%**で、
大腸がんとはほぼ同等ですが
「**心不全の怖さ＝生命を縮める病気**」
であることはあまり知られていません。

こんな悩みありませんか？

- ✓ 退院しても、またすぐ調子が悪くなってしまう
- ✓ しょっぱいものが大好きで 減塩できない
- ✓ 最後はお家で過ごしたい

その悩み
ぜひご相談ください
一緒に考えましょう！



引用・参考文献

急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版) www.j-circ.or.jp/ (2019年5月17日閲覧)

日本循環器学会ホームページ:「心不全の定義」記者発表について www.asas.or.jp/jhfs/pdf/topics20171101.pdf (2019年5月17日閲覧)

3) 前田靖子:Ⅲ.チーム医療の今後 Ⅲ-4慢性心不全看護認定看護師の今後の役割.Heart医学出版 2013.3(9).p82-88

地域看護専門看護師

(地域看護 CNS)

在宅ケア領域



地域看護専門看護師は、1996年に特定された分野で、「産業保健」、「学校保健」、「保健行政」、「在宅ケア」のいずれかの領域において水準の高い看護を提供し、地域の保健医療福祉の発展に貢献することをめざしています（2019年6月現在、全国に26人）。

地域看護の歴史の流れから、2012年には「在宅ケア」領域が独立し、在宅看護専門看護師が新たに専門分野として特定されました（2019年6月現在、全国に52人）。地域看護専門看護師と在宅看護専門看護師は協働して地域の課題に取り組んでいます。

「病院か在宅か」ではなく、病院を含めた地域の多機関、さまざまな領域で働く看護職、医療・介護・福祉などの専門職、市民も含めた繋がりを築いていくことで、「地域のケアの力」を高めていきたいと思っています。

Q. 地域看護専門看護師は
どんなところにいるの？



A.

地域看護専門看護師は、地域のさまざまな機関・部署に在籍しています。

- ・訪問看護ステーション、
- ・医療機関（病院、クリニックなど）、
- ・行政機関（県庁や市役所などの行政機関、保健所、地域包括支援センター、地方議会など）、
- ・教育・研究機関（大学など）

＜地域看護 CNS の役割と活動＞

専門看護師には6つの役割があります。
活動の一部を紹介します。

【実践】訪問看護ステーションに勤務し、訪問看護師として在宅で療養する利用者を訪問し、看護を提供しています。

【調整】療養者の心身の状態をアセスメントしたうえで、その人らしい生活を支える医療やケアのあり方について、療養者、家族、他職種と検討し、支援を調整します。

【倫理調整】療養者と家族の方針のずれや、認知症のある方の意思決定などの課題を、倫理的な葛藤として認識し、課題に対する調整を行います。

【相談】看護職や他職種、市民などを対象に、コンサルテーションを行います。

【教育】市民、看護学生、看護師、他職種を対象とした講義や、研修プログラムの策定に携わっています。

【研究】大学や職能団体による研究に協力したり、分析に参加したりしています。



老人看護専門看護師

認知症に対する誤解や偏見、高齢者の意思の軽視など高齢者ケアには倫理的課題が潜んでいると言われています。

言葉で表現することが困難な認知症高齢者の微弱なサインから快、不快を捉え、日常生活を整えることで、落ち着いて過ごせるようになることがあります。そのような日々の丁寧な関わりを重視しています。

高齢者と家族の残りの人生が意に沿ったものとなるように、以下のような働きをしています。

高齢者の心身を整える

- ・老化と疾患、持てる力をアセスメント
- ・誤嚥、せん妄など高齢者が陥りやすい健康障害への早期介入
- ・認知症高齢者と家族の生活の困りごとの解決
例) 食事、排泄、睡眠に関すること
など

倫理的課題の解決

- ・高齢者の意思を尊重した医療とケアの調整
- ・関わる人々のもやもやの検討
例) 高齢者と家族の意思が異なり、どのように調整したらよいか？
・これって虐待？ など

人生の最期を見据えた関わり

- ・高齢者と家族の望む最期のあり方を把握し、医療、ケアを検討
- ・残された日々の心地よさの追求した日常生活ケアの実践
など

高齢者に関する課題の解決に介入いたします。

【執筆者一覧】

北多摩南専門・認定ナースの会

項目	氏名	所属	認定名
皮膚排泄ケア認定看護師	三島可愛	野村訪問看護ステーション	皮膚排泄ケア認定看護師
緩和ケア認定看護師	坂口良子	野村訪問看護ステーション	緩和ケア認定看護師
がん看護専門看護師	熊谷靖代	野村訪問看護ステーション	がん看護専門看護師
地域看護専門看護師	宮田乃有	なごみ訪問看護ステーション	地域看護専門看護師
訪問看護認定看護師	富樫明美	稲垣薬局訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
訪問看護認定看護師	酒井省子	東京慈恵会医科大学附属第三病院	訪問看護認定看護師
老人看護専門看護師	田中和子	わそら街なかナースST	老人看護専門看護師
慢性心不全看護認定看護師	齋藤珠美	しみず内科循環器クリニック	慢性心不全看護認定看護師

看護・スペシャリストの活用

2019年 4月 第1版 発行

発行 北多摩南専門・認定ナースの会
事務局 野村訪問看護ステーション
〒181-8503

東京都三鷹市下連雀8-3-6
TEL：0422-47-5401（直通）